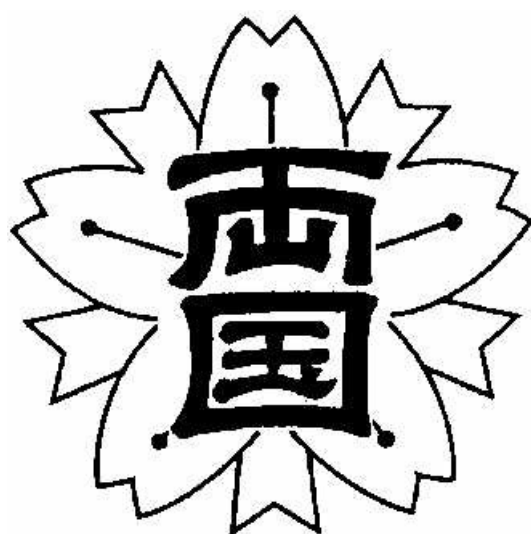


令和8年度（2026）

年間授業計画

第3学年



東京都立両国高等学校附属中学校

1. 学年学習到達目標

- (1) 様々な文章を読み、内容を的確に捉える力を高め、論理力や想像力を養う。
- (2) 言語や表現に対する理解を深め、言葉を大切にしようとする姿勢を養う。
- (3) 思考力や創造力を養い、目的や意図に応じて的確に表現できるようにする。

2. 授業の進め方（授業形態等）

- (1) 時間数 週4時間、年間総授業数140時間
- (2) 授業形態 一斉・講義・演習・グループワーク等

3. 教科書・副教材

教科書	『国語3』（光村図書） 『中学書写』（教育出版）
副教材	『ちくま表論文の読み方』（筑摩書房） 『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店） 『常用漢字の2×3』（浜島書店） 『すらすら基本文法』（浜島書店） 『新中学問題集』（教育開発出版） 『完全マスター古典文法』（第一学習社） 完全マスター古典文法準拠ノート（第一学習社） 『必携新明説漢文』（尚文出版） 『必携新明説漢文基礎練習ノート』（尚文出版）

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	5	【現代文分野】 「世界はうつくしいと」 「握手」 「つくられた「物語」を超えて」 「俳句の可能性」「俳句を味わう」	・ 文学的文章、説明的文章 ・ 文章表現 ・ 韻文音読、朗読 ・ 俳句 ・ 文語文法（単語の分類、動詞）	46	(通年) ・ 小倉百人一首 ・ 漢字 ・ 語句 ・ 読解演習 ・ 口語文法
		【古典分野】 古典文法基礎 「学びて時に之を習ふ」	・ 古典文法の基礎 ・ 古典文学の読解		
	6	【書写分野】 書写（硬筆と毛筆）		6	
2	9	【現代文分野】 「挨拶」「故郷」「それでも、言葉を」 グループディスカッション	・ 文学的文章、説明的文章 ・ 文章表現 ・ 韻文音読、朗読	51	
		【古典分野】 「和歌の世界」「君待つと」	・ 古典文学の読解		
	10	【書写分野】 書写（硬筆と毛筆）		7	
3	1	【現代文分野】 「溢かいへーノ」「イのにしを米ぬはいじ」「羅士門」	・ 文学的文章、説明的文章 ・ 文章表現 ・ 韻文音読、朗読	23	
		【古典分野】 「夏草」「古典名句・名言集」	・ 古典文学の読解		
	2	【書写分野】 書写（硬筆と毛筆）		7	

5. 評価について

それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。

- 知識・技能……定期考査、漢字、文法、語彙、書写等
- 思考・判断・表現…定期考査、スピーチ、発表、ノート、作文、レポート等
- 主体的に学習に取り組む態度…日ごろの授業への取り組み、提出物、小テスト等

1. 学年学習到達目標

- ① 現代社会をとらえるための見方や考え方の基礎を学習し、広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的、多角的に考察する。また、我が国の伝統と文化に関心を持ち、国土と歴史に対する理解と愛情を深めるとともに、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
- ② 社会的事象について自分の考えを説明したり、まとめて論述したり、議論を通じて深めたりして言語活動を充実させ、「人と文化」について思考・判断・表現する力を育てる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週3時間 (2)年間総授業数 105 時間 (3)授業形態 1クラス 40人授業

3. 教科書・副教材

教科書	「中学社会 公民(教育出版)」 「中学歴史 日本と世界 山川出版社」
副教材	「政治・経済資料集(とうほう)」 「学び考える歴史(東京都版) 浜島書店」 「中学歴史 日本と世界ノート 山川出版社」

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考(育みたい力)
1	4	【公民①】 私たちの暮らしと民主政治	【公民①】 民主主義とは/選挙のしくみと国民の政治参加/世論とマスメディア/三権分立と国会のしくみ/立法権をもつ国会/政党と政治/内閣と議院内閣制/内閣の仕事と行政のはたらき/裁判所の役割/裁判の流れと司法権の独立/地方公共団体の政治のしくみ	39	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の在り方について客観的に把握・分析する能力 ・主権者としての自覚 ・さまざまな地域の多様性への理解 ・歴史的なものの考え方と将来に向けてそれらを活用する能力 ・グラフ・表など様々なデータを読み取る能力 ・歴史資料を活用する力
	5				
	6	【歴史】 近代に日本と国際関係	【歴史】 日清・日露戦争とアジア/近代日本の産業と文化/第一次世界大戦と日本/国際協調の崩壊/第二次世界大戦と日本/戦後の日本と国際社会		
	7	二つの世界大戦と日本			
2	9	【公民①】 私たちの暮らしと経済 安心して豊かに暮らせる社会	【公民①】 家計と消費生活/企業の生産の仕組みと労働/株式会社/価格の変動と市場の仕組み/産業構造の変化/金融のしくみと中央銀行/財政の役割と国債	45	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の在り方について客観的に把握・分析する能力 ・主権者としての自覚 ・さまざまな地域の多様性への理解 ・学習内容を実生活に応用し活用できる能力 ・グラフ・表など様々なデータを読み取る能力 ・先哲の思想を深く理解して現代的意義を捉え、それらを活かすことのできる能力
	10	【公民②】 私たちの暮らしと現代社会	【公民②】 私たちが生きる現代社会/現代につながる伝統と文化/私たちがつくるこれからの社会/世界とかわる私、家族と私、地域社会と私/国家と私、世界と私、法と私たちの生活/日本国憲法の考え方/日本国憲法の成り立ちと国民主権/人権の歴史/大日本帝国憲法と日本国憲法/国民主権と天皇/平和主義/憲法改正		
	11	個人を尊重する日本国憲法 基本的人権の尊重			
	12				
3	1	【公民①】 国際社会に生きる私たち	【公民①】 国際社会と主権国家/国際社会と国際連合/地域統合と世界の動き/資源とエネルギー問題/食糧問題/人間の安全保障/持続可能な未来	21	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の在り方について客観的に把握・分析する能力 ・主権者としての自覚 ・学習内容を実生活に応用し活用できる能力 ・グラフ・表など様々なデータを読み取る能力 ・先哲の思想を深く理解して現代的意義を捉え、それらを活かすことのできる能力
	2				
	3	【公民②】 私たちと平和主義	【公民②】 平等権、自由権、社会権、参政権と国務請求権、新しい人権/国際社会における人権/基本的人権の尊重/日本の安全保障と平和主義のこれから		

※学校設定教科「人と文化」の時間数と内容を含んでいます。

5. 評価について

それぞれの観点について次の内容を考慮して評価する

- ・知識・技能…定期考査、小テスト、課題等
- ・思考・判断・表現…定期考査、発表、ノート、課題等
- ・主体的に学習に取り組む態度…日ごとの授業への取り組み、提出物、ノート等

1. 学年学習到達目標

- ①人類の精神文化を中心に理解を深め、現代社会の諸問題に着目し、現代社会に対する興味・関心を高める。
- ②資料の収集や活用のしかた・新聞やインターネットの活用法、プレゼンテーションの方法などを学び、活用できる能力を身に付けさせる。
- ③日本や世界で起こっているさまざまな諸問題について、そこに生きる人間のさまざまな生き方や考え方を知るとともに諸問題の解決策を自ら考え追求することができる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週1時間 (2)年間総授業数 35 時間 (3)授業形態 一斉・討論・作業・発表など

3. 教科書・副教材

教科書	教科書使用しない。自作ワークプリントを使用。
副教材	「テオリア」(第一学習社)

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4	1 文化とは何かを考えよう	「文化」の定義 日本の風土、思想の特徴	13	
	5	2 日本文化の特徴を知ろう	日本の近現代思想 明六社と啓蒙思想／福沢諭吉の学問の精神と独立の精神／中江兆民の自由民権思想		
	6	3 日本の近現代思想を知ろう	キリスト教思想（内村鑑三）／社会主義思想（幸徳秋水）／夏目漱石と森鷗外／西田幾多郎と和辻哲郎		
	7	4 日本の近現代思想の影響について考えよう	*日本の歴史（日清・日露戦争～第二次世界大戦）の背景と関連づけての学習		
2	9	5 世界の近現代思想について知ろう	西洋の近現代思想 経験論（F.ベーコン）と合理論（デカルト）	17	
	10	6 世界の近現代思想の影響について考えよう	社会契約説 自由・平等に関する考え方		
	11	7 世界の多様な生き方考え方を知ろう	功利主義 実存主義		
	12	8 人間の在り方生き方について考えよう	公平性に関する考え方 ヒューマニズム *日本や世界の歴史（第二次世界大戦後の世界）や民主化・現代社会への影響と関連づけて学習		
3	1	9 異文化理解とは何かを考えよう	現代社会が抱えている問題点とその解決 ・価値観の問題、宗教の問題	5	
	2	10 学習のまとめ 課題探究レポート作成	・持続可能な社会 ・環境倫理、生命倫理、共生社会		
	3		*これまでの学習をふまえて、現代社会の問題点について課題探究型で学習する		

5. 評価について

- ・学習したこと、調べたことを適切な用語を使って討論し、まとめたりして表現している。
- ・課題やレポートの提出、授業の取組の姿勢など総合的に加味して評価材料とする。

1. 学年学習到達目標

- ①整式についての理解を深め、目的に応じて計算したり整式を変形したりすることができる。
- ②平方根の概念を理解し、平方根を含む式を計算したり平方根の概念を利用したりすることができる。
- ③2次方程式について理解し、これを解いたり利用したりすることができる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週4時間 (2)年間総授業数 140時間 (3)授業形態 一斉授業 ※週1時間は、「1学級2展開の習熟度別授業」で問題演習を行います。

3. 教科書・副教材

教科書	中学校数学3（学校図書）
副教材	体系数学2（数研出版）／体系問題集数学 発展（数研出版）

4. 学習計画 ※発展的内容

期	月	指導単元名	学習内容	時数	演習	備考
1	4	【代数分野】 2次方程式 ※	1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の活用 習熟度に応じた、問題演習	9	3	
	5	関数 $y=ax^2$ ※	1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の応用	9	3	
	6	図形と相似 ※	5 いろいろな関数 習熟度に応じた、問題演習	12	4	
	7		1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 習熟度に応じた、問題演習 5 相似な図形の面積比、体積比	9	3	
			【幾何分野】			
2	9	【代数分野】 【幾何分野】 円 ※	1 外心と垂心、円に内接する四角形 2 接線と弦のつくる、方べきの定理 3 2つの円 習熟度に応じた、問題演習	13	4	
	10	線分の比と計量 ※	1 三角形の重心 2 線分の比と面積比 3 チェバの定理、4 メネラウスの定理 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。	12	4	
	11	三平方の定理 ※	1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面図形 3 三平方の定理と空間図形	11	4	
	12	【代数分野】 数と式 ※	習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。 1 多項式 2 因数分解 3 多項式の割り算 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。5/15	9	3	

3	1	数と式 ※ 2次関数 ※	4 分数式 5 実数 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。 1 2次関数のグラフ 2 2次関数の最大値, 最小値 3 2次関数の決定 4 2次関数のグラフと方程式 5 2次不等式 習熟度に応じて、応用・発展的な問題演習を行う。	21	7
	3	【幾何分野】			

5. 評価について

3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を3段階で評価する。「主体的に学習に取り組む態度」は、授業への取り組みの様子、宿題や課題などの状況で評価する。他の観点は定期考査、小テスト、レポート課題などの成績を中心に評価する。3つの観点の評価を総合して5段階の評定を出す。

1. 学年学習到達目標

- ① 日常生活と関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養い、電流に対する興味・関心を高める。
- ② 身の回りの物体の運動の観察・実験を通して、運動の調べ方の基礎を身につけるとともに、力と運動についての基本的な規則性を理解し、これらの事象を日常生活と関連づけて、運動の初歩的な見方や考え方を養う。
- ③ エネルギーに関する観察・実験を行い、エネルギーの基礎について理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養い、エネルギーに対する興味・関心を高める。
- ④ 人間が利用しているエネルギーには、水力、火力、原子力などさまざまなものがあることを理解するとともに、エネルギーの有効な利用を日常生活と関連づけて科学的にみる見方や考える態度を養う。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週2時間 (2)年間総授業数70時間 (3)授業形態…一斉授業

3. 教科書・副教材

教科書	未来へひろがるサイエンス2（啓林館）、未来へひろがるサイエンス3（啓林館）
副教材	最新理科便覧 東京都版（浜島書店）、中高一貫進展理科 物理編(文理)

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4	電流の性質	・自由電子の基礎事項の確認 ・回路に流れる電流 ・回路に加わる電圧 ・電圧と電流と抵抗 ・オームの法則 ・電気エネルギー	14	観察・実験、演示実験等をもとに大気現象を身近に感じさせるとともに、物理的な説明も施して発展性のある理解をさせる インターネットを用いて日常の に関する情報を身につけさせる 細かい知識よりも時間・空間概念を身につけさせる
	5	電流と磁界	・電流がつくる磁界 ・磁界から電流が受ける力とモーター ・電磁誘導		
	6	物体のいろいろな運動	・運動の調べ方	12	
	7		・速さ（平均の速さ、瞬間の速さ） ・速さの変化と力の関係 ・力のつり合い ・力の合成と分解		
2	9	エネルギーと仕事	・慣性の法則 ・作用・反作用の法則 ・運動の法則	14	
	10		・重力に逆らっている仕事 ・摩擦力に逆らっている仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー	16	
	11				
	12				
3	1	エネルギー資源の利用	・力学的エネルギー保存の法則	4	
	2		・電気エネルギー・発電 ・エネルギー消費とエネルギー資源 ・効果的なエネルギー利用	10	
	3		・放射線の利用		

5. 評価について

- ①定期考査 ②小テスト ③提出物（レポート・ノート・問題集など） ④実技テスト

1. 学年学習到達目標

- ①自然科学に対する興味・関心を高める。②観察・実験の基本的操作を身につける。
- ③身近な化学変化を記号で表せるようにする。また、酸化・還元、電池、中和の基礎を学習する。
- ④生物は細胞でできていることおよび自分たちの体のしくみを観察・実験を通して理解する。動植物のからだのつくりとはたらきを学習し、生命を尊重し自然環境を保全しようとする意欲と態度を育てる。
- ⑤生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解し、生命の連続性について認識を深める。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週2時間 (2)年間総授業数70時間 (3)授業形態…一斉授業・実験・観察

3. 教科書・副教材

教科書	未来へひろがるサイエンス2,3 啓林館
副教材	中高一貫 進展理科 化学編 生物編 文理、最新理科便覧東京都版 浜島書店 アシスト 科学と人間生活 新訂版（化学資料+問題集） 実教出版

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4 5 6 7	【化学分野】 物質の構成 水溶液とイオン	・物質の分類, 原子の構造, イオンの生成, ・成分元素の確認	26	
		【生物分野】 生命を維持するはたらき	・栄養分の消化・吸収 ・細胞呼吸と肺のはたらき ・心臓のはたらきと血液循環 ・腎臓や肝臓のはたらき		
2	9 10	【化学分野】 化学結合, 酸・アルカリとイオン	・酸、アルカリの定義 ・配位結合 ・中和反応イオン化傾向、電気分解、電池	30	
	11	【生物分野】 感覚と運動のしくみ	・感覚器官 ・中枢神経と末しょう神経 ・骨格と筋肉		
3	1	【化学分野】 物質質量と化学反応式	・原子量・分子量・式量 ・物質質量 ・化学反応の量的関係	14	
	2	【生物分野】 生物の成長と生殖	・細胞分裂 ・無性生殖と有性生殖 ・動物や植物の増え方		
	3	生物の規則性と遺伝子	・減数分裂・遺伝のしくみ ・遺伝子の本体DNA ・遺伝子に関する科学技術		

5. 評価について

- ①実験実習レポート ②定期試験 ③普段の授業態度
- レポート・試験・授業中の発表には、文章で表現するものを多く取り入れ、国語力の向上に努める。

1. 学年学習到達目標

- ①幅広い活動を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
- ②曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽の諸要素を理解しそのよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ③主体的・協働的に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむ態度を養う。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週1時間 (2)年間総授業数 35時間 (3)授業形態 一斉(40人)

3. 教科書・副教材

教科書	中学生の音楽2・3上、下（教育芸術社）中学生の器楽（教育芸術社）
副教材	MY SONG 7訂版（教育芸術社）音楽のハーモニー2・3年下（正進社）

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4	歌唱（斉唱・合唱）	・発声、ブレス、姿勢など歌唱における基礎的な技能を高める。	5	
	5	鑑賞	・曲想と音楽の構造とのかかわり、特徴とその背景の歴史との関わりについて理解し、味わって聴く。	2	
	6	器楽（リコーダー）	・アルトリコーダーの基礎的な奏法を身につけ、アンサンブルの美しさを味わう。	4	
	7	楽典	・音階や調について理解する。	2	
2	9	鑑賞	・曲想と音楽のの構造とのかかわり、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、よさや美しさを味わって聴く。	2	
	10	楽典		3	
	11	歌唱（斉唱・合唱）	・和音について理解する。	10	
	12		・歌詞の内容を生かして表現を工夫するとともに、基礎的な歌唱の技能を向上させる。		
3	1	歌唱（斉唱・合唱）	・声部の役割や曲の雰囲気の変化を理解し、クラスメイトと協力しながら表情豊かな表現をめざす。	5	合唱コンクール
	2	鑑賞（尺八）		・我が国の伝統音楽の特徴と多様性について理解し、表現の共通性や固有性を味わって聴く。	
	3		2		

5. 評価について

- ①出席状況 ②授業での取り組み ③実技発表、実技テスト
- ④定期考査 ⑤レポート、感想文 ⑥提出物

1. 学年学習到達目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1) 週 1時間 (2)年間総授業数 35時間 (3)授業形態 一斉（美術室）

3. 教科書・副教材

教科書	光村図書「美術2・3」
副教材	

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4	・水墨画	・水墨画の余白について理解する。 ・高畑勲監督「かぐや姫の物語」を題材にした新美の巨人を鑑賞し、リアルではないリアリティに富んだ表現の可能性を模索する。 ・技法練習を行い、各自の作品に合う技法を見つけ表現する。	11	
	5				
	6				
	7				
2	9	・消しゴムハンコ	・落款のデザインを消しゴムに転写し、彫り、水墨画作品に押印する。	5	
	10	・レリーフ制作	・参考作品を鑑賞し、壁やドアにかけて実際に使用することを想定してデザインをする。	10	
	11		・粘土の特徴を理解し、乾燥前にすることと乾燥してから彫刻刀で制作することの見極めをし、表現の工夫等を学ぶ。		
	12				
3	1	・美術と私、そして社会	・3年間の美術の授業を通して学んだ事を人生に活かすための工夫を考える。 ・美術と社会のつながりを見つめ直すことで今まで学んだ美術を再発見する。	5	
	2				
	3				

5. 評価について

- ①学んだ知識、技能を活用し作品に表すことができたか。
 - ②課題を踏まえコンセプトを基に発想することができたか。
 - ③主体的に意欲を持って授業に取り組むことができたか。
- ※以上の点を中心に作品、ワークシート、クラスノートブック、授業態度、出欠を基にして評価する。

1. 学年学習到達目標

- ①運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすことができるようになる。
- ②健康・安全に留意して運動することができるようになる。
- ③個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を身につける。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週3時間 (2)年間総授業数 105時間 (3)授業形態 一斉（一部男女別習）

3. 教科書・副教材

教科書	大日本図書 新版 中学校保健体育		
副教材	大日本図書 新版 中学校保健体育ノート3	学研	中学体育実技2023

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	5	【体育分野】 体づくり運動	体力を高める運動／体ほぐし運動 体力テスト／運動と体や心の働き	4	体育祭 体力テスト
		陸上競技 体づくり運動	短距離走・リレー・投運動 新体力テスト	10 4	
	6	武道	剣道	10	
		水泳	クロール／平泳ぎ／背泳ぎ／バタフライ	8	
7	【保健分野】 健康な生活と疾病の予防／健康と環境		4		
2	9	【体育分野】 水泳	クロール／平泳ぎ／背泳ぎ／バタフライ	6	
	10	球技①	①ソフトボール	8	
	11	武道	②バドミントン 剣道	8 10	
	12	【保健分野】 健康な生活と疾病の予防／健康と環境		4	
3	1	【体育分野】 陸上競技	長距離走	10	球技大会
		球技②	女子：バレーボール 男子：サッカー	8	
	2	武道	剣道	4	
	3	【保健分野】 健康な生活と疾病の予防／健康と環境		4	

5. 評価について

- それぞれの観点については、次の内容を考慮して評価する。
- (1) 知識・技能・・・定期考査、学習カード、技能テスト
 - (2) 思考・判断・表現・・・定期考査、授業への取り組み、学習カード
 - (3) 主体的に学習に取り組む態度・・・出席状況、忘れ物、授業への取り組み、提出物の状況

1. 学年学習到達目標

- ①身に付いた知識や技能を活用し、生活での問題を解決する方法を育成する
- ②情報の種類に応じて、応用ソフトを効果的に活用できる能力を養う
- ③食糧生産や地球環境の中で植物が課している役割について感心をもつ

2. 授業の進め方 (授業形態等)

(1)週 0.5時間 (2)年間総授業数 17.5 時間 (3)授業形態 一斉 (40人)

3. 教科書・副教材

教科書	新しい技術・家庭 技術分野 (東京書籍)
副教材	オルゴール人形、スプラウト

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4	3編：エネルギー変換の技術	電子機械工作 ・製作の準備 ・けがき ・部分加工 ・組み立て ・動作確認	6	
	5				
	6				
	7				
2	9	3編：エネルギー変換の技術	3章 社会の発展とエネルギー変換の技術	2	
	10	4編：情報の技術	3章 計測と制御のプログラミングによる問題解決	4	
	11	2編：生物育成の技術	4章 社会の発展と情報の技術	2	
	12		1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み		
			2章 生物育成の技術による問題解決		
3	1	2編：生物育成の技術	3章 社会の発展と生物育成の技術	3.5	
	2				
	3				

5. 評価について

- ・定期考査、実習、実験、レポート、プリント、作品、発表、平常点等総合的に評価する。

1. 学年学習到達目標

- ① 家族や地域の人々と協力・協働し、よりよい家庭生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識・及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。
- ② 持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2. 授業の進め方 (授業形態等)

(1) 2週に1回、1時間 (2) 年間総授業数 17.5 (3) 授業形態 一斉 (40人)

3. 教科書・副教材

教科書	新しい技術・家庭 (家庭分野) (開隆堂)
副教材	家庭科ワークノート (地域教材社)

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	備考
1	4	A 家族・家庭生活	A (2) 幼児の生活と家族 (3) 家族・家庭や地域との関わり	6	
	5				
	6				
	7				
2	9	C 消費生活・環境	(4) 家族・家庭についての課題と実践 C (1) 金銭の管理と購入 (2) 消費者の権利と責任	3	
	10				
	11			4.5	
	12				
3	1	C 消費生活・環境	(3) 消費生活・環境についての課題と実践	4	
	2				
	3				

5. 評価について

定期考査、実習、発表、提出物等から総合的に評価する。

1. 学年学習到達目標

対象：中学3年全クラス

- ①教科書などの英文を聞き手が理解できる正しい発音で音読できる。
- ②Oral Presentation, Speech, Skit, Debateなどで、英語を用いて自分の考えなどを論理的に話して伝えることができる。
- ③スピーチの題材などで、テーマに基づいて、まとまった内容を英語で論理的に書くことができる。
- ④まとまりのある英語（英検準2級程度）を聞き取ることができる。
- ⑤まとまりのある英語（英検準2級程度）の文章を読んで理解できる。

2. 授業の進め方（授業形態等）

(1)週4時間 (2)年間総授業数 140時間 (3)授業形態 一斉(週3時間：ALTのTT/週1時間：JET-ALTのTT)

3. 教科書・副教材

教科書	NEW HORIZON English Course 3（東京書籍）
副教材	Basic Grammar in Use（Cambridge） Oxford Wordpower Dictionary Discover Debate Let's Enjoy Bingo3(浜島書店) 英語のたてよこドリル3(正進社)

4. 学習計画

期	月	指導単元名	学習内容	時数	TT(ALT) Lesson
1	4	Orientation Unit 0	[英語の学習方法・言語活動の基本] Discover a New Side of Classmates [受動態・過去分詞] What is special about Japanese pop culture?	52	Orientation Skit 1 「idiom」 Interview 1 「My Kind of Tokyo」 Speech 「Discover Japan」 Writing指導 English Debateの基礎
	5	Unit 1	[現在完了形・過去分詞 / make O C / 接続詞 that]		
	6	Unit 2 Unit 3	How do you choose your clothes? [現在完了形 / 現在完了進行形]		
	7	Stage Activity	How can we save animals? [It is... to / want 人 to / 原型不定詞] Discover Japan		
2	9	Let's Read 1	A Mother's Lullaby	60	Skit 2 「英会話Time Trial から」 Interview 2 「My Activity Report」 Presentation about Unit 4/5/6 Writing指導 English Debateの基礎
	10	Unit 4	How can we help each other in a disaster? [間接疑問文 / 現在分詞・過去分詞]		
	11	Unit 5	What makes a good leader? [後置修飾 / 関係代名詞]		
	12	Unit 6	What does it mean to be a global citizen? [仮定法 / 関係代名詞]		
3	1	Let's Read 2	Power Your Future	28	Interview 3 「中学校生活」 Presentation 「English for Me」 Writing指導 English Debateの実践
	2	Let's Read 3	Coloring Outside the Lines		
	3	Optional Reading	英文多読、本のBook Recommendation		
		Orientation	[英語の学習と評価・中学校英語のまとめ・学習方法]		

5. 評価について

I 知識・技能（定期考査、音読テスト、Shadowing、Presentation、Skit、面接テスト、ライティング課題）

- ① 語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。
- ② 正しい語順や文型、語法などの文法事項をふまえて、適切な表現にすることができる。
- ③ 必要な情報を、正確に聞き取ることができる。
- ④ ある分量の英文を読んで、必要な情報を正確に読み取ることができる。
- ⑤ 間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教科書本文の音読ができる。
- ⑥ 相手に配慮しながら、コミュニケーションを継続することができる。
- ⑦ 既習の文型や語法、適切な文章形式をふまえて、英文を正確に書くことができる。

II 思考力・判断力・表現力（定期考査、Presentation、Speech、Skit、面接テスト、Discussion、Debate、ライティング課題）

- ⑧ 話された内容の概要・要旨を聞き取ることができる。
- ⑨ ある分量の英文を読んで、その大意を読み取ることができる。
- ⑩ ある分量の英文を読んで、その大意から次の展開を推測することができる。
- ⑪ ある分量を読んで、論理展開や順序を読み取ることができる。
- ⑫ 英語の音声と内容を伝えることを意識して、音読やプレゼンテーションをすることができる。
- ⑬ 聞き手を説得できるように論理的に自分の意見を述べるることができる。
- ⑭ あるものの描写や詳細を説明することができる。
- ⑮ 相手が話したいことに対して質問をしたり、答えたりしながら議論を継続することができる。
- ⑯ 目的や場面に応じて適切な表現を用いて書くことができる。
- ⑰ 順序や論理展開を意識してまとまった分量の文章を書くことができる。

III 主体的な学習に取り組む態度（授業での取り組み、課題提出、自己評価・自己分析など）

- ⑱ 英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。
- ⑲ 文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。
- ⑳ 自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態度を持つことができる。

※ 中高6年間共通の評価規準のため、⑩⑪⑰は中学では見取らない。